

私立 千葉商科大学附属高等学校 シラバス

保健体育科 「保健（2年普通科全コース・商業科全コース）」	単位数	1 単位	学科	普通科・商業科
	学年	1	組	A～K

1 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けられるように学習する。 ・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えられるように学習する。 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組めるように学習する。
-------	---

育成する資質能力	「社会貢献」「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」
学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	・事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりする。 ・交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりする。 ・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す。安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取り組み、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりする。	・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見する。 ・安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用する。 ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取り組みを評価しているか。 ・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明しているか。 ・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	・安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしているか。 ・応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしているか。

・適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりする。 ・自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりする。 ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AED などを用いて心肺蘇生法ができるか。 ・日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるか。 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしているか。	・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 ・応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理しているか。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理しているか。 ・生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したり	・生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしているか。 ・労働災害と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしているか。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしているか。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしているか。 - 健康に関する環境づくりと社会参加にいて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしているか。
--	--	---

・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適	して、筋道を立てて説明しているか。 ・労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見しているか。 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用しているか。 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理しているか。 ・労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明しているか。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見しているか。 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理できているか。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できるか。	
---	--	--

	切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うことが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。 ・一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながることについて、理解したことを言ったり書いたりしているか。	・様々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できるか。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用できるか。 ・様々な保健活動や社会的対策について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できるか。 ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。	
評価方法	・定期考査 100%	・定期考査 90% ・振り返りシート 10%	・課題提出（metamoji ワークシートやレポート、保健ノート）50% ・授業態度 50%
配分	80%	10%	10%

2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項，他教科との関連など）
第1学期	1 事故の現状と発生要因 2 交通事故防止の取り組み 3 安全な社会の形成 4 応急手当の意義と救急医療体制	・様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解します。	・期末考査

	5 心肺蘇生法 6 日常的な応急手当	・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることを理解します。 ・交通事故防止には個人の取り組みと交通環境の整備が必要であることを理解します。 ・交通事故には補償など法的責任が生じることを理解します。 ・安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解します。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境の整備について理解します。 ・応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解します。 ・救急医療体制の仕組みと社会的整備の必要性、適切な利用方法について理解します。 ・心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解します。 ・心肺蘇生法ができるようにします。 ・日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにします。 ・熱中症の予防および基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにします。	
第2学期	1 思春期と健康 2 性意識の変化と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画 8 働くことと健康 9 労働災害の防止 10 働く人の健康づくり	・思春期における心身の発達や性的成熟について理解します。 ・思春期に起こりやすい健康課題について理解します。 ・自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解します。 ・性行動の選択には性情報への適切な対処が必要であることを理解します。 ・結婚生活と健康との関係について理解します。 ・結婚生活における夫婦関係、親子関係による健康への影響について理解します。	・期末考査

		・受精，妊娠，出産の過程と，それに伴う健康課題について理解します。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解します。 ・家族計画の意義について理解します。 ・人工妊娠中絶が心身へ与える影響について理解します。 ・働くことの意義と働き方の多様化について理解します。 ・働く人における健康問題について理解します。 ・労働環境の変化に伴い，労働災害の要因も変化していることを理解します。 ・労働災害を防止するための様々な取り組みについて理解します。 ・職場での心身両面にわたる積極的な健康づくり活動について理解します。 ・働く人の健康には余暇の活用など生活の質の向上も重要であることを理解します。	
第3学期	7 保健制度とその活用 8 医療制度とその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 様々な保健活動や対策 11 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	・保健行政の役割について理解します。 ・健康の保持・増進には保健サービスの適切な活用が必要であることを理解します。 ・医療保険の仕組みについて理解します。 ・医療サービスの適切な活用方法について理解します。 ・医薬品には承認制度や販売に関する規制が設けられていることについて理解します。 ・医薬品は，使用法に関する注意を守り，正しく使う必要があることを理解します。 ・日本や世界では健康課題に対応した保健活動や対策が行われていることを理解します。 ・国際機関や民間機関などにより行われている様々な保健活動や対策について理解します。	・期末考査

		・自他の健康の保持・増進には健康を支える環境づくりが重要であることを理解します。 ・健康を支える環境づくりへの積極的な参加が自他の健康につながることを理解します。	
--	--	--	--

使用教科書	現代保健体育（大修館） 7 0 2
副教材	現代保健ノート 7 0 2

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・授業で教科担当の「説明を聞いたり」「板書を書き留める」だけでなく、積極的に自分自身の生活を振り返り、健康の保持増進を図るための課題を見つけることが大切です。さらには、学習した内容をもとに、自分や集団の課題を解決する方法を見つけ出すことも求められています。 ・教科書、プリントや保健ノート ipad を中心に学習を進めます。学習の流れに乗り遅れないよう積極的に活動することが大切です。 ・新聞やニュースに気を配り、保健や健康に関する記事をスクラップするなどして日頃から関心持つことが大切です。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	・教科書、保健ノート、iPad は毎時間必ず準備してください。 ・授業チャイムと同時に始めますので、休み時間中に教科書及び保健ノート、ipad を準備しておき、チャイムと同時に着席を完了してください。 ・欠席した場合のプリントは次回の授業で担当者に申し出てください。
その他のアドバイス	・「保健」という科目は、「健康を保つ」ことを取り扱う授業で、毎週 1 時間の授業が行なわれます。 ・健康問題がテレビや新聞等で大きく取り扱われる現状の中で、正しい情報を取り入れ適切な生活行動を選択できるようになることが求められています。「保健」では、自分や家族の健康を保持増進するための基本的な事柄を理解するだけでなく、日常生活の中の課題を見つけ出し解決の方法を導き出すことができるような授業を展開します。 ・日常生活において、空気と同じようにあって当然、なくなると困るもの、それが健康です。毎日の生活の中で「体の健康」「心の健康」に目を向けて下さい。